

**T09a**            **SDSS commissioning data における color cut による銀河団検出**

後藤 友嗣

SDSS(Slone Digital Sky Survey) 計画は北天  $\pi$  ラジアン領域を optical 5 色による撮像、及び  $\sim 18$  等までの銀河についての分光を行う計画であり、現在は本サーベイの開始を間近に控え、commissioning の data が得られている状態である。本研究では commissioning data として'99 春に得られた equator 付近の約 250 平方度の optical 5 色の撮像データを用い、color-cut による新しい方法で、銀河団の検出を行ったので、報告する。銀河団銀河は Color-Magnitude Relation に知られるように、ある特定の色を持ったものが多い。ここでは検出方法として、この銀河団銀河の色についての特性を利用して、銀河団の銀河密度コントラストを高めることにより、銀河団を検出した。銀河団の最終的な同定には Color-Magnitude Relation を用いた。

銀河団検出の試みは、Princeton 大のグループは別に Matched Filter 法を用いて行っており、彼らの結果との比較をとおして、検出法の違いによる結果への影響も議論する。